

より安全でより健康な製品

安全な成分を厳選して用い、安心して使える製品をお届けします。

社会的課題

近年、SNSやブログなどのソーシャルメディアの発達により、ウェブ上でさまざまな情報が容易に入手できるようになっています。そうした状況を受け、多くの生活者が、製品に用いられている成分の安全性やサステナビリティについて関心を高めており、自ら関連した情報を調べることも可能になっています。一方で、ウェブ上などでは、科学的根拠の不確かな情報も含まれており、偏った情報があたかも真実かのように広がる可能性があります。

方針

花王は、常に安全性を第一として、人の健康はもちろん、環境への影響やサステナビリティに配慮し、製品開発に取り組んでいます。製品を安心してお使いいただくために、国内外において社会的に関心の高い成分に関して、科学的根拠に基づいた安全性情報と共に花王の考え方をお伝えします。高い透明性と責任あるコミュニケーションを実行することにより、多くのステークホルダーに共感していただき、未来へと続く信頼の絆を深めます。

戦略

リスクと機会

リスク

社会的に関心の高い成分について、不適切な情報が混在しており、花王の提供する製品に該当する成分が含まれる場合、製品の価値が正しく理解されないおそれがあります。また、人の健康や環境などへの影響が懸念される成分について、私たちの考えが示されていない場合、信頼を著しく損なうリスクがあります。

機会

製品に使用する成分に関して、科学的な評価を受けた情報に基づいて花王の考え方を適切にわかりやすく提供することで、生活者・顧客に理解を深めていただき、花王やその製品に対する信頼性を高める機会を得ることができます。生活者・顧客と花王が共通の情報をもとにしてコミュニケーションをとることで、イノベーションの創出、新たな価値の創造など“よきモノづくり”への貢献につながり、花王が持続可能な社会に欠かせない企業に成長する機会となります。

戦略

製品に使用する成分について、国内外の社会動向を踏まえリスクと機会を評価した上で、花王の考えを積

極的に公開しています。成分の方針公開によるコミュニケーションを通じて生活者・顧客からの信頼の維持・向上につなげると共に持続可能な社会に欠かせない企業として発展することに貢献します。

1. 花王の考えを発信すべき重要度の高い成分の特定

製品に使用する成分の安全性、サステナビリティに関わる事項に関して、生活者・顧客、流通などのステークホルダーの動向や社会的な課題をグローバルな視野での確に捉え、花王の考えを発信すべき重要度の高い成分を特定する。発信する成分の優先順位は、製品数や販売国・地域など事業影響を踏まえて決定し、事業のリスク回避及び発展につなげる。

2. 科学的根拠に基づいた花王の考えを公開

社会的に関心の高い成分のうち重要なものから科学的に検証された安全性情報をもとに、花王の考えを日本及びグローバルサイトにおいて積極的に公開する。こうした公開を通じて生活者・顧客と共通の情報を共有し、コミュニケーションを図ることで、誤解のない正しい理解を得ると共に信頼関係を構築し、企業価値を高める。

社会的インパクト

さまざまな情報がある中で、安心して製品を使っていただくためには、科学的に検証された情報に基づい

より安全でより健康な製品 GRI 416-1

て花王としての考え方を開示することが必要と考えます。花王の考え方を公開することにより、生活者・顧客に理解を深めていただくと共に、安心して製品をお選びいただけます。その信頼が個人から地域、そして社会全体に広がることで、より一層の大きな信頼を築くことにつながります。

貢献するSDGs



事業インパクト

製品に使用する成分に関して、科学的に検証された安全性情報をもとに花王の考え方を公開することは、生活者・顧客が安心して花王の製品を選択することにつながり、ひいては市場拡大の機会になると考えます。

また、こうした公開を通じた生活者・顧客とのコミュニケーションは、製品に対する信頼性を高めることに貢献し、企業価値の向上につながることが期待できます。

ガバナンス

体制

ESGコミッティの下部組織である化学物質管理ステアリングコミッティのもとで活動を推進しています。国内外の関連部門のメンバーからなるワーキンググループにおいてリスク評価、情報開示すべき成分の抽出、考え方の素案の作成をしています。さらに、事業・研究など関連部門のリーダーが集まる製品原料方針策定会議に諮った上で、成分の考え方を公開しています。

P25 Our ESG Vision and Strategy > ガバナンス

教育と浸透

より安全でより健康な製品の開発を推進するために、製品や製品に含まれる成分における人の健康や環境影響に関する安全性情報などについて、広く世界から収集し、社内ポータルサイトで情報を共有しています。これらの情報は、事業・研究などさまざまな部門で共有し、社員はグローバルな視野で理解を深めています。

ステークホルダーとの協働

社会的に関心の高い成分について科学的根拠に基づいた安全性情報を踏まえて花王の考え方を開示してい

ます。この取り組みを通じて、生活者・顧客からの信頼の維持・向上につなげると共に、製品を安全にお使いいただくことや、適切な製品の選択をサポートしています。

生活者・顧客とのコミュニケーション／理解促進

生活者・顧客から成分に関する安全性などの問い合わせをいただいた際には、その内容について多角的に分析し、広い視野で見識を深めています。その分析情報をもとに、公開する成分について理解しやすい開示内容及び表現になるよう努めています。

社内関連部門との連携

人の健康及び環境に関わる安全性情報を広く世界から継続的に収集することで、成分の選定や製品の安全性評価に役立て、安心してお使いいただける製品の開発につなげています。

業界団体・行政との連携

各国・地域で業界活動に積極的に参画することにより、また、行政とコミュニケーションを深めることで、安全性に関する情報を精査しています。

リスク管理

公開する成分を選択する際、及び考え方を公開したあとにも次のようなリスク管理を行っています。

より安全でより健康な製品 GRI 416-1

1. 公開する成分の選択

公開する成分について国内外の社会動向、科学的知見に基づいた安全性情報などを踏まえ、想定されるリスクのアセスメントをワーキンググループにて行います。その後、化学物質管理ステアリングコミッティ傘下の製品原料方針策定会議において、花王の考えを発信すべき重要度が高い成分かどうかを判断します。公開すべきと判断した成分に関しては、公開に向けて迅速に対応を進めます。

2. 公開後のフォローアップ

公開後も、多角的な分析調査を積極的に進め、新たなリスクが生じていないかワーキンググループにおいて継続的にモニタリングします。規制や科学的知見が更新されるなど、新たな課題が見出された場合は、速やかに公開情報の改定や新たな情報開示などの適切な対応を行い、社会からの信頼向上につなげます。

P40 Our ESG Vision and Strategy > リスク管理

検討した上で、方針を策定します。これまで積極的に活動を推進し、長期目標とした18成分の方針公開を2022年に前倒しで達成しました。一方で、社会的な懸念や課題は、社会情勢や人々の倫理・価値観の変化の影響を受けることから継続的な調査を行い、情報開示の拡充を検討してきました。情報開示の拡充において、製品をより安心してお使いいただくための情報として、製品に使用しない成分にも対象を広げ、花王の考えを示すべき成分を精査しました。その結果、新たに12成分を特定しました。そこで、これまでの18成分から目標を更新し、30成分の方針開示をめざすこととしました。

2023年実績

社会的に関心が高い成分であり、花王がグローバル拡大のために重要と捉えているスキンケア事業においてキーとなる2成分(オクトクリレン、ホモサレート)の方針について2023年9月にサステナビリティサイトに公開しました。また花王製品に使用しない成分について、情報開示に向けた取り組みを推進しました。



花王製品に含まれる成分についての考え方
<https://www.kao.com/jp/innovation/safety-quality/ingredients-contained/>

指標と目標

中長期目標と2023年実績

2030年長期目標

社会的に関心の高い成分について、人の健康及び環境に関わる安全性情報の収集及びその内容の妥当性を

2023年実績に対する考察

ワーキンググループを定期的に開催し、上記の2つの成分の公開内容について議論を重ね、素案を作成しま

した。作成した素案について、事業・研究など関連部門のリーダーとも内容を確認し、議論を深めた上で、公開する文面をまとめました。これまで活動を継続的に推進し、合計20成分について考え方を公開しました。KPIとして設定した30成分に対して、合計で20成分の公開となりました(公開比率67%)。また情報開示の準備を進めている花王製品に使用しない成分については、順次、速やかに公開していく予定です。

より安全でより健康な製品

GRI 2-28, 416-1, 417-1

主な取り組み

安全・安心な成分の使用と情報開示

花王は、社会的に関心が高い成分について、科学的に精査された情報をもとにした考え方や対応を積極的に公開しています。2022年までに18成分(アルキル硫酸塩、1,4-ジオキサン、ホルムアルデヒド遊離型防腐剤、パラベン類、マイクロプラスチックビーズ、防腐剤、シリコーン、タルク、紫外線吸収剤、香料(香り)、アルミニウム塩、PEG(ポリエチレングリコール)、鉱物油、フェノキシエタノール、フッ素(フッ化物)、BHT(ジブチルヒドロキシトルエン)、オキシベンゾン、オクチノキサート)について考え方を公開しました。2023年は花王がグローバル拡大のために重要と捉えているスキンケア事業においてキーとなる2成分(オクトクリレン、ホモサレート)について考え方を公開しました。これまで活動を継続的に推進し、2023年度で合計20成分について方針公開に至りました。また製品に使用しない成分について、情報開示に向けた取り組みを推進し、適切な情報の拡充を図ります。

社内では当該成分の基本情報、健康や環境への影響に関する安全性情報などの整備を行い、適切に情報公開が行えるように管理体制も整えています。



花王製品に含まれる成分についての考え方
<https://www.kao.com/jp/innovation/safety-quality/ingredients-contained/>

業界活動／コミュニケーション

日本化粧品工業会において、健康や環境への影響に関する規制化動向をグローバルに把握し、その対応を検討する活動に積極的に参加しています。世界各国・地域の工業会との連携も図りつつ、科学的な情報のとりまとめ、日本における使用状況の把握、行政のパブリックコンサルテーション等に対する意見提出において中心的な役割を果たしました。このほか、日本石鹸洗剤工業会、日本化学工業協会等関連の業界活動にも積極的に参画しています。また、世界主要地域における工業会活動にも参画し、情報収集を図ると共に、特にASEANを含むアジア地域においては行政との情報交換等に貢献しています。

さらに、生活者・顧客、取引先等と適切なコミュニケーションに努めています。例えば、成分の使用やその安全性に関する問い合わせ等があった際には、迅速に適切な情報を提供しています。加えて、いただいた問い合わせをもとに、社会的に関心の高い事項を分析調査し、製品の開発に役立てます。また学会においても成分に関する発表を通じた化学物質の安全性に対する理解の醸成に努めています。



日本環境変異ゲノム学会：演題 No. S4-4
<https://jems2023.jp/data/program.pdf>